



# '95 身近な 生きもの 調査



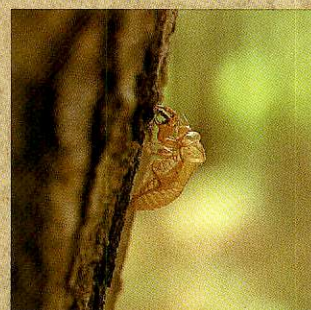
## ●調査のてびき●



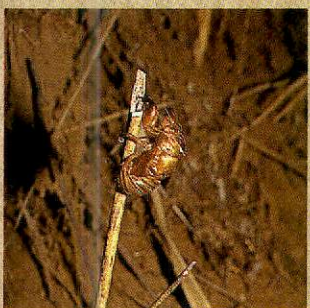
コエノゼミ



アブラゼミ



エゾハルゼミ



ミンミンゼミ



ニイニイゼミ



ヒグラシ

'95

# 身近な 生きもの 調査



## 目次

はじめに	2
1. 調査はこうしてすすめられます	3
2. こうやって調べてください	3
Aセミのぬけがら調べ	4
検索図①(北海道～九州)	6
検索図②(南西諸島・小笠原諸島)	8
Bセミの鳴き声調べ	10
Cアンケート「セミと人のくらし」	12
3. 調査結果の返送方法	14
Dセミの運鳴き調べ	15

## はじめに

このてびきを手にされたあなたは、自然に大変興味をお持ちの方でしょうか、それともこの調査のことをお聞きになって、初めて自然に目を向けようと思われた方でしょうか。みなさん、それぞれの思いがあることと思います。

このてびきは、調査のやり方や「セミのぬけがら」の見分け方などについて説明したものです。調査を始める前に、ひととおり目をおしておいてください。わかりにくい点は、どうぞ遠慮なく、自然環境調査室へお問い合わせください。

今回の調査が、みなさんの身の回りの自然をもう一度見つめ直すきっかけになればと、願っています。実際に調査を始めると、分からなくなったり、とまどったりすることもあるかと思いますが、調査期間は十分にありますので、じっくりと、できるものだけを、みなさんのペースでやってみてください。

## セミと人のつながりを知るために

代表的な夏の風物であるセミ。日本には全国で32種のセミが生息しています。この数はアメリカやヨーロッパなどに比べるととても多い数で、日本を訪れた欧米の方にはその鳴き声がとてもめずらしく感じられるそうです。

私たちにとってセミはたいへんなじみ深い昆虫です。古くから短歌や俳句などに詠まれていますし、夏休みの子供たちにはカブトムシやクワガタムシなどとならんでとても人気があります。

このように、セミはその豊富さが日本の自然の特徴のひとつであると同時に、私たちの生活にも深いかわりをもつ昆虫です。

しかし、このような日本のセミも都市化などによってある地域からは姿を消してしまったり、逆にかつては見られなかった地域に分布を広げているような例もあります。また、私たちの暮らしぶりが変わったことでセミとのかかわりが薄くなり、セミの声に季節の移り変わりを感じる事が少なくなっているようなことはないでしょうか。

今回みなさんに参加いただいて全国でセミの調査をすすめるのは、セミのぬけがらを集めたり鳴き声を調べたりすることで、すこしずつ変化している日本のセミの様子を明らかにし、どの地域のどんな環境にどんな種類のセミが生息しているかを正確につかもうというねらいがあります。その結果からは、人の活動が自然にどのような影響をあたえているかを知ることができるはずです。

私たちに夏を感じさせてくれるセミの声を、これからも変わらずに聞くことができる環境——今回の調査がそうした環境を残す手がかりになるとともに、人と自然とのかかわりを見つめ直す機会になればと思います。

# 1. 調査はこうしてすすめられます。

今回の「身近な生きもの調査」は、全国の多くの方々に参加いただいて、みなさんの身のまわりで見つけた「セミのぬけがら」と、セミの鳴き声などについての情報を環境庁にお寄せいただくものです。気軽に調査していただき、みなさんからたくさんの情報が寄せられることを期待しています。

以下に、この調査の実施方法を説明します。

## 調査に使う資料

### ①調査のてびき

今お読みいただいているこの冊子です。この冊子には、大きく分けて1.調査全体の流れ、2.調査のやり方、3.調査結果の返送方法などが書いてあります。

調査を始めるまえにひととおりに読んでいただき、このてびきに従って調査をすすめてください。

### ②調査票

調査結果を環境庁に報告するための用紙です。調査票はつぎの3種類があります。それぞれ記入する内容がちがいますのでご注意ください。

#### Aぬけがら調べ調査票

見つけた「セミのぬけがら」に関する情報を記入する調査票です。ぬけがらと調査票を一つずつ、フィルムケースと一緒にいれてください。

#### B鳴き声調べ調査票

鳴き声が聞こえたセミについて記入していただく調査票です。あなたの家の近所、学校やお勤め先、あるいは旅行先や帰省先など、いくつかの場所で調べた方は、その場所ごとに1枚使ってください。もし足りなくなったら、コピーして使ってください。

#### Cアンケート「セミと人の暮らし」

セミの「地方名」やセミの声が多く聞こえる場所について記入していただきます。また、セミに関する体験もおうかがいします。この調査票は1人1枚1回だけ記入してください。

### ③返送用封筒

調査結果を記入した調査票やセミのぬけがらを環境庁に返送するときに使う封筒です。調査票やぬけがらを入れたフィルムケースは、この封筒に入れてまとめてお送りください。

### ④アンケート用紙

調査結果とは別に、参加形態や人数などについておたずねするアンケート用紙です。差し支えない範囲でご記入いただき、調査票などと一緒にお送りください。

## 調査する範囲や項目について

調査はできる範囲ですすめてください。あらかじめ決められた調査範囲というものはありませんし、調査項目もできるものだけでかまいません。記入する用紙（調査票）は3枚ありますが、みなさんの興味やご都合でそのなかの1枚や2枚だけでも結構です。

## 調査票の返送期限

1995年（平成7年）9月末日までに、まとめてご返送ください。

## 集計と調査結果の公表

みなさんから寄せられたセミのぬけがらや調査票のデータはコンピュータに入力され、セミの種類ごとの集計を行うとともに、全国あるいは地域ごとの分布図（生きもの地図）が作成されます。みなさんから寄せられたデータをもとに分布図を作成することによって、生きものから見た身近な自然の状況や都市化の影響などがわかるわけです。

こうした調査結果は新聞やテレビを通じてお知らせするとともに、調査票をお寄せいただいたみなさんには、できるだけ早く分布図などを盛り込んだ「報告書」をお届けします。

# 2. こうやって調べてください。

「身近な生きもの調査」は大勢の方に参加いただけるよう、調査方法などはなるべくわかりやすくなるよう工夫しました。今回の調査では、Aセミのぬけがら、Bセミの鳴き声、Cセミの地方名やセミの声が多く聞こえる場所など、について調べますが、ど

こで調査するか、どれだけ調べるかといったことはみなさんのご都合に合わせていただいかまいません。以下、順番に調査のやり方をご説明しますので、ご自分のわかる（自信のある）、あるいは興味のある項目を調べてください。